

数 学 問 題

はじめに、これを読むこと。

1. この問題用紙は3ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 問題は、1ページから3ページに書かれている。それ以外のページは、計算用紙として使用してよい。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しない。
6. 分数形で解答する場合は、それ以上約分できない形で答えなさい。また、根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出しなさい。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰りなさい。
12. 試験時間は60分である。

13. マーク記入例

良い例	悪い例
	

※ この問題用紙は、必ず持ち帰りなさい。

〔Ⅰ〕 次の各問の に入る数値を下の表から選んでアルファベットをマークせよ。同じアルファベットを選んでもかまわない。

1. $a_1, a_2, a_3, \dots$ を初項が -15 、公差が整数 d の等差数列とする。このとき

$a_4 < 0 < a_5$ ならば、 $d =$ (1) となり、

$$\sum_{n=1}^5 (-1)^{n-1} n a_n =$$
 (2)

である。

2. 1 から 4 までの数字が、1 つずつ書いてある 4 枚のカードがある。この中から同時に 2 枚を取り出し、大きい方の数字を a とし、小さい方の数字を b とするとき、 $2a - b$ を得点とする。このとき、得点の期待値は、 (3) であり、得点が (3) 未満となる確率は、 (4) である。

3. $0 \leq x \leq \pi$ かつ $x \neq \frac{\pi}{2}$ を満たす x について、

$$1 - \tan^2 x = 3 \cos(\pi - x) + \frac{2}{\cos(\pi - x)}$$

を満たすとき、

$$\cos x =$$
 (5) , $\sin x =$ (6)

である。

A. 0	B. -1	C. $-\frac{\sqrt{3}}{3}$	D. $\frac{1}{3}$
E. $-\frac{1}{2}$	F. 1	G. $-\frac{\sqrt{3}}{2}$	H. 2
I. -2	J. 3	K. $\frac{\sqrt{2}}{3}$	L. $\frac{2\sqrt{2}}{3}$
M. 4	N. $\frac{3\sqrt{3}}{2}$	O. 5	P. $\frac{5}{4}$
Q. 6	R. 7	S. 8	T. 9
U. 10	V. -10	W. -24	X. $10\sqrt{2}$
Y. $12\sqrt{23}$	Z. 180		

〔Ⅱ〕 次のア～へに当てはまる0～9の数字を解答欄にマークせよ。

1. $0 \leq x, y$ かつ $3x + 2y = 4$ を満たす (x, y) に対して, $x^3 + \frac{8}{3}y^3$ は,

$(x, y) = (\text{ア}, \text{イ})$ のとき, 最大値 $\frac{\text{ウエ}}{\text{オ}}$ となり,

$(x, y) = \left(\text{カ}, \frac{\text{キ}}{\text{ク}} \right)$ のとき, 最小値 $\frac{\text{ケ}}{\text{コ}}$ となる。

2. $0 \leq y \leq 4x - 2x^2$ を満たす (x, y) に対して, $z = 4x^2 + 2xy - 8x$

の最大値と最小値を考える。条件から考える x の範囲は,

$\text{サ} \leq x \leq \text{シ}$ である。この範囲の x を1つ固定して,

z の値を考えると, z は, y についての1次式だから, 固定された x に

たいして, z は $y = \text{ス}x - \text{セ}x^2$ のとき, 最も大きく

$z = -\text{ソ}x^3 + \text{タチ}x^2 - \text{ツ}x$ となる。

従って, 考える範囲の (x, y) にたいしては,

$(x, y) = \left(\text{テ} + \frac{\sqrt{\text{ト}}}{\text{ナ}}, \frac{\text{ニ}}{\text{ヌ}} \right)$ のとき,

z は最大値 $\frac{\text{ネ}\sqrt{\text{ノ}}}{\text{ハ}}$ となる。

同様のやり方で最小値をもとめると, $(x, y) = (\text{ヒ}, \text{フ})$ の

とき, z は最小値 $-\text{ヘ}$ となる。

〔Ⅲ〕 自然数 n, k について, xy 平面上で $0 \leq y \leq x$ と $y \leq 2n + k - x$ で定まる領域を C_k とする。ある整数 a, b に対して, $(a, b), (a + k, b), (a, b + k), (a + k, b + k)$ を頂点にもつ正方形を 1 辺が k の格子点の正方形と呼ぶ事にする。 C_k に入る格子点の正方形を考える (C_k の境界も含める)。このとき, 次の問いに答えよ。

1. $n = 4$ のとき, C_k 内に 1 辺が k の格子点の正方形が存在するための, 最大の k をもとめよ。
2. 1 辺が k の格子点の正方形が, C_k 内に存在するための k の条件を, n であらわせ。
3. C_k 内にある 1 辺が k の格子点の正方形の総数を a_k とするとき, a_k を n と k の式であらわせ。
4. $a_1 + a_2 + \cdots + a_n$ をもとめよ。